

R241(音更大通)通信

より利用しやすく安全な道に

このニュースレターは、「国道241号(音更大通)に係る交通課題検討のための懇談会」の検討内容を地域の皆様にお知らせするために作成し配布しているものです。

第7回懇談会

平成26年11月11日に第7回懇談会を開催しました。
第6回懇談会(平成25年10月23日)以降に実施した現地調査を踏まえ、安全性・円滑性に関する検証と今後の対策の方向性について、意見交換を行いました。

■これまでに短期的な安全性改善策を平成24年度に実施しています

幅広2車線区間		急激な車線減少区間 (右図 区間)
沿道出入りの少ない区間 (右図 区間)	沿道出入りの多い区間 (右図 区間)	
外側線を設置 (対面2車線の明確化)	外側線+中央ゼブラゾーンを設置	車線運用方法を変更
		



■安全性向上に関する継続的な取り組み

【第6回懇談会における指摘意見】

・「安全確保のために中央ゼブラゾーンが有効に活用されているか?」との意見があり、周知・広報活動を行い効果検証を行いました。

【周知・広報活動】

- ・チラシ配布 500部
(木野大通12丁目周辺大型店 ホームック、ダイイ等の駐車場)
- ・ポスター設置
(木野大通2丁目 セイ-マート)



チラシ配布の様子

【効果検証結果】

・約9割の車両が後続車の追突を避けるために中央ゼブラゾーンを利用＝「一定の安全性確保」を確認



安全性確保のために中央ゼブラゾーンを利用している様子

【配布・設置したチラシ・ポスター】

より利用しやすく安全な道に

中央ゼブラゾーンの走行はできません

片側1車線走行です。走行車線を通行しましょう。



右折の時に危険と感じたら・・・



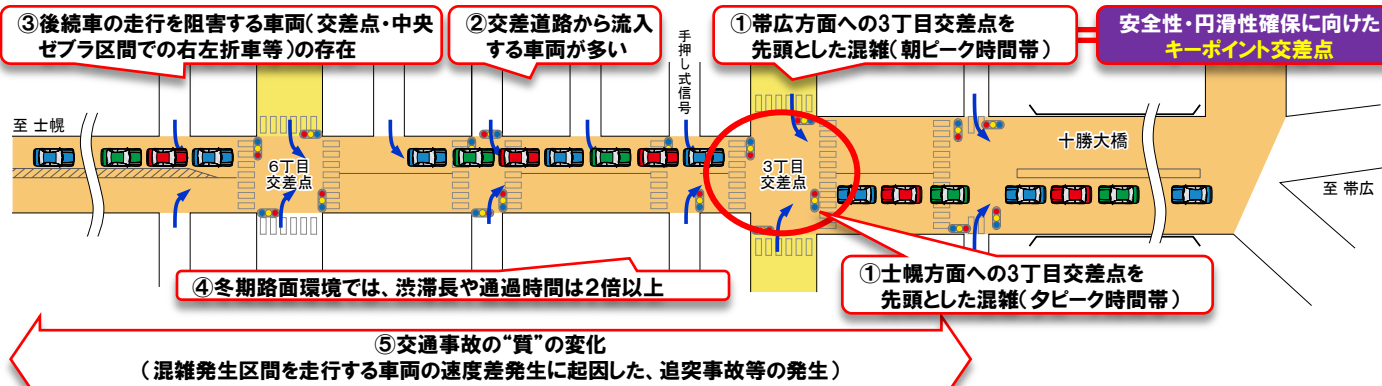
危険回避のために、中央ゼブラゾーンを有効に活用すると追突される心配が少なくなります。

ドライバーの皆様の判断で安全を確保して、「より利用しやすく安全な道に」ご協力をお願いします。



安全性・円滑性の検証と今後の対策の方向性

◇安全性・円滑性の検証結果(課題の再確認)



◇今後の対策検討の方向性

- ① 3丁目交差点対策
 - 帯広方面：朝ピーク時間帯の対策
 - 土幌方面：夕ピーク時間帯の対策
- ② 交差道路（道道や町道）から国道への流入車両対策
- ③ 中央ゼブラゾーンの活用促進
 - 周知・広報活動
- ④ 冬期路面環境も視野に入れた対策
- ⑤ 車両速度差発生を抑制する事故対策

安全性・円滑性確保に必要な検証及び有効な改善策を検討し「より利用しやすく安全な道に」を目指した議論を今後も継続



■懇談会における主なご意見

	主なご意見
安全性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・中央ゼブラゾーンは有効に利用されており、右折時の危険回避による安全性の確保については一定の効果が表れている。 ・利用促進については、今後も継続的な周知・広報活動を行うとともにモニタリングによる再確認が必要である。
円滑性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・混雑発生区間での追突や左折時の事故は、今後、改善が必要である。 ・脇道を通ってきた車両が1～3丁目の国道に集中し、交通の流れを妨げている。また、左折車線が無いところでは、直進車の交通を妨げている。 ・渋滞発生時は、信号が変わっても先詰まりによって交差点内で止まってしまう車両もあり、国道と交差する道路からの交通を妨げている状況も見られる。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・中央ゼブラゾーンに関しては、今後も周知・広報活動を徹底。 ・国道と交差する道路からの流入が多いため、国道と並行する道路も含めた、幅広い調査を行う必要がある。 ・事故の内容も変化してきているため、今後も安全性・円滑性の両面について監視し、改善策の検討を進める必要がある。 ・課題解決に向けた対策は急にはできるものではないため、今後も着実に「安全かつ円滑な道路」を目指して、地域の意見を反映しながら課題を解決していく。

【懇談会の様子】



今後も引き続き懇談会を開催し、地域及び道路利用者の皆様と意見交換を行っていく予定です。

■ご意見・お問い合わせ先

【事務局】音更町建設水道部 都市計画課
北海道開発局帯広開発建設部 道路計画課

TEL:0155-42-2111
TEL:0155-24-4106